

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
丹波篠山市立城東保育園・かやのみ幼稚園あり方検討委員会
- 2 開催日時
令和5年7月26日（木）19時00分から20時30分まで
- 3 開催場所
城東公民館 第1研修室
- 4 会議に出席した者の氏名
委員長 酒井隆明
副委員長 丹後政俊、金崎美和
委員 中西幸治、小嶋昇、代理倉康隆（森田新治）、山田俊朗、不破崇行、炭野彩子、松本匠平、辻野富子、山内祥子、讃岐貴洋、出口陽正、倉眞智子
オブザーバー 向井千尋
事務局 丹波篠山市教育委員会事務局こども未来部長 稲山悟、こども未来部次長兼保育教育課長 西嶋睦美、子育て企画課長 竹見朋子、子育て企画係長 宇杉裕子、保育教育課長補佐 森田育樹、園管理係長 小林智彦、管財契約課営繕係長 田中健、市民生活部地域振興課長（城東地区振興担当）尾形繁
- 5 傍聴人の数
0名
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別
全て公開
- 7 非公開の理由
該当なし
- 8 会議資料の名称
第1回丹波篠山市立城東保育園・かやのみ幼稚園あり方検討委員会資料

9 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状の交付
- (3) 市長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 協議事項
 - ①副委員長の選出について
 - ②会議の公開に係る会議録の発言者の表記方法について
 - ③城東保育園・かやのみ幼稚園の概要について
 - (ア) あり方検討課題について
 - (イ) 市内の公立保育園・幼稚園・こども園の概要について
 - ④意見交換
 - (ア) 城東保育園・かやのみ幼稚園のあり方について
 - ⑤保護者からの意見徴取について
- (6) その他
- (7) 次回の開催日
 - 第2回丹波篠山市立城東保育園・かやのみ幼稚園あり方検討委員会
 - 日時 令和5年9月27日(水) 19時～
 - 場所 城東公民館
 - 内容 アンケート結果について
- (8) 閉会

10 協議の概要

- (1) 副委員長の選出について
委員の互選により、金崎美和委員が副会長に選出された。
- (2) 会議の公開に係る会議録の発言者の表記方法について
伏せた形とすることとした。
- (3) 城東保育園・かやのみ幼稚園の概要について
事務局から資料により説明
- (4) 意見交換
(委員長)
1つは現在の保育園・幼稚園を改修してやっていくのか、保育園・幼稚園を一体化させてこども園にするのかのどちらかになると思います。
市内では、こども園化をしてきたのは、味間、たき、現在今田のこども園を来年4月に開園予定です。

保護者の皆さんいかがですか。

(委員 A)

自身も日置地区の出身で城東保育園とかやのみ幼稚園を卒園していて、自分がいたところに我が子を通っているというのは非常に感慨深いことはあるのですが、逆に言えば自分がいた時と建物が一緒に、他の園と比べると老朽化の話もそうだと思いますし、資料を見ていると自分の親世代の時に建てられた建物を改修して使うよりは新しい建物になった方が子どもも過ごしやすいと思うことが1つと、保護者からすると、幼稚園と保育園に子どもが通っているのですが、働きながらお預けすることを考えると2ヶ所に分かれて連れて行くよりは同じところの方がありがたいと思います。

(委員 B)

私も両方通っているのですが、朝忙しい中大変なので、1ヶ所でお預かりをお願いできるのはメリットがあると思います。

(委員 C)

この事業は過疎債が使えるのですか。

(委員長)

適用になると思いますが、それは別にして意見を出していただけたらと思います。

(委員 D)

これから先のことを考えると、老朽化の工事に入るにしても財源が必要なので、そこでお金をかけて、数年後に新たなものを建てるとなるとお金がかかってしまうので、こども園にするべきと思います。

(委員長)

皆さん、こども園化を目指して検討していくということによろしいでしょうか。

(委員)

はい。

(委員長)

こども園化を目指して検討を進めたいと思います。

進め方として主にどういうことを決めていかないといけないのかということと、保護者アンケートを取ろうとしているのですが、その説明をお願いします。

(事務局)

(6) 保護者からの意見徴取でございます。本日両園保護者代表の方4名も来ていただき、意見も頂戴しましたが、可能であれば両園に在籍していただいている保護者の方にもご意見をいただけたらと考えております。方法としましては、アンケートの実施または保護者の前で説明していただきたいということでしたら意見交換会のどちらかを考えていますので、両園の保護者、または園長先生よりご意見がいただけたらと思います。

(委員 E)

9月入ってからアンケートを取るのがいいと思います。意見交換会を案として挙げていただいておりますが、説明するというよりシンプルなアンケートで十分かと思います。

(委員 F)

保育園は特に夏休みとかありませんので通常に来ていますが、幼稚園と合わせた方がいいかなと思いますので9月入ってからしていただけたらと思います。

(委員長)

9月に入ってからアンケート取って、その結果を踏まえてここで話になりますね。

(事務局)

はい、そうです。

(委員長)

あり方検討委員会ではこども園化を目指して取り組むが、保護者の意見も聞きながらということですので、アンケートで聞いたうえでこの会を進めていきたいと思います。

他でもこのような会で進めてきたのですが、場所をどこにするかということと、その場所でのどのような配置にして、どのような構造にするかなど保護者の意見、要望などを聞きながら、また最終的には園の名前をどうするかになるかだと思います。

建設の方向で進めていきますが、市の段取りもあります。あり方検討委員会で決めたことを尊重してその通りになるように、それが実現できるように取り組んでいきます。ただし、ここで決めたことが絶対ではなく、施政は市長が決めたから動くのではなくて、全て市議会の了解が必要ですので、議会に報告しながら進めていきますので、ここで決めたことが無条件で実現できるわけではないが、実現に向けて努めていきますのでご理解をお願いします。

それでは、こども園化を含めて、あるいは城東地区の子育て施策を含めて、保護者の方からご意見、要望などありましたらお願いします。

(委員 G)

篠山出身ではないので、特に意見はございません。

(委員 H)

日置に会社があり、城東保育園に預けていて、長女は現在10歳で以前、味間こども園にお世話になっていました。こちらはまだよくわからないのでご意見は申し上げられないのですが、味間こども園もちょうど保育園からこども園になった時に長女が2歳で行きまして、きれいな園舎でトイレトレーニングとかも気持ちよくできたかなと思っています。

(委員長)

味間のこども園はいっぱいになってしましまして、新しくにしき保育園のところに増設したり、他の保育園に預けていただく方も支援したりしています。

(事務局)

市内で数年前から待機児童が出ているということで、具体的に本年度から動いています。1つは市長から説明があったように、味間認定こども園の中に施設を増やすことが非常に厳

しい状況にありまして、第2希望、第3希望に書いていただいている近隣の西紀保育園に1室、低年齢児を受け入れる施設を今年度増築しようとしています。また、ソフト事業としまして、第3希望園までに入れなくて、遠方の園に通っていただくことになった方に少しですが通所に係る経費として補助金を出すように本年度から始めさせていただいて、何とか待機児童が1人でもなくなるように、また皆さんに園の方に通っていただけるように頑張っているところです。

(事務局)

合わせて保育士の配置基準が変わろうとしています。今でも保育士が非常に不足しています。保育士を探している状況ですが、市内では人材確保が難しい状況なので、大学に直接行って大学生の皆さんに是非とも丹波篠山市に来てほしいとか、潜在保育士といって保育士の資格を持ちながら働かれていない方にもう一度仕事に復帰していただけないかなということで、保育士確保の事業も実施しておりますのでお知り合いで保育資格のお持ちの方がおられたらよろしくお願ひしたいです。

(委員A)

城東地区は人が減って、多紀の方は子どもが増えていると聞いておるのですが、住んでいる方が増えているのか移住の方が増えているのですか。

(委員長)

多紀は移住の方が増えています。特に福住地区は10年ぐらい前から、若い方を増やそうと取り組みをされていたのがうまくいって、家が増えたり、移住したいという方が増えいて、空き家を探しておられるので、本年度自治会長さんにお世話になって空き家を活用しようとしています。こういったところは都会の方から見ても住みたいところになるので自信を持って取り組みをいただいています。

ふるさと一番会議を開催したのですが、多紀地区は若い女性の方が来ていただいている、その方は移住者で、こんな子育てをしたいとかみんなに声をかけていきたいとか皆さんの前で言っていただいたので地域の皆さんも勇気づけられたと思います。

(委員B)

私は10年ほど前に来まして、こちらで子どももおおきくなって、2番目の子はクラスメートが10人ぐらいしかなくて少なかったので増えたらいいなと思います。

(委員長)

丹波篠山市の教育を教育長よりお願いします。

(副委員長)

少ないという意見がありましたが、今は1クラス40人でしたが、多いということで、小学校は順番に35人にしています。来年度の小学校は35人学級になって、中学校はそのような方向でいくと思います。一人一人を丁寧に見ていくことを大事にしようというのが国の方針です。今までは全体の授業を進めていくのに注力していたと思うのですが、一人一人を丁

寧に見ていくという個人に適した学びの環境ととらえて一人一人の個性、特性に応じ、更に ITC が進んできていて、一人一台端末も子どもたちは使いこなしますし、紙で調べる子は紙で調べたりして個性を伸ばしていくのには少人数がいきってくると思っています。1人で自分の学びを進めていくのも大事なのですが、これからの社会は1人の力で問題を解決できるということではないので、みんなの知恵を出し合ってやっていくのが大事だと思います。丹波篠山市のいいところは先生方に聞いても、地域の応援が熱いですという声を聞きます。地域で一緒に育てようという思いを大事にしながら、自然の中で子どもたちを育てる、そういう教育をやっております。

(委員長)

それぞれ何かありましたら一言ずつお願いします。

(委員 J)

子どもも大きくなって、孫はおりますが、学校とは疎遠になってしまって、保育園と幼稚園には子どもも通いましたが、私はこども園ってどうなのかなと思うのが実態で、意見を言うのにも何を言っているのか分からなく、保護者の意見を尊重していただけたらと思います。場所はどこがいいとかは言えますが、中身のことを言われても現在では分からないので孫の意見も聞いて言えたらと思います。

(委員 K)

味間とたきと今田の定員は何人ですか。どの程度の規模になっていくのか、建物は平屋建てですか。

(事務局)

現在建築を進めております今田こども園の定員は120人となっております。ただ、120人の子どもが集まってくるのかというわけではなくて、最大で120人までということですので、実際に入られる子どもの数は70～80人ぐらいと思っております。建物は平屋建てとなっております。次に、たきこども園は定員が115人で現在の園児数は今年度、58人です。昨年度まではもう少し多かったので本年度減りました。年によっては子どもの数にも波がありますので今年度は少し少なく58人です。建物は平屋建てとなっております。味間認定こども園につきましては、条例上の定員としては460人となっておりますが、現在の施設の使い方からすると460人は大きい数字になっておりまして、実際の園児数が297人で約300人となっております。建物は敷地の都合もありまして2階建てとなっております。城東地区でこども園となった場合、人数規模としては今田と同じで120人定員規模を想定しています。

(委員 F)

いちばん会議にでも出ていたが、老朽化してますので、最低限修理、改築はしていただきたい。事故等が起こらないよう考えていただきたい。

(委員長)

どれぐらいの時期に完成させようと事務局思っておられますか。

(事務局)

今回、過疎地域持続的発展計画の中でも出てきた話で、そちらの計画年度が令和5年から7年度になっておりますので、先ほども財源の話が出たのですが、有利な財源を使うとなると令和7年度までに建物が建てればいいかなと考えております。

(委員 K)

現在味間に待機児童がいるとおっしゃったのですが、定員460人に対して300人で、空いているにも関わらず待機児童がいるということは保育士のことなのか、安全性を確保するためにこの人数で抑えておられるのかどうなんでしょうか。

(事務局)

味間の件ですが、最初に造った施設で、こども園を造れば遊戯室というものを作りますが、味間の場合、遊戯室を使う前提で定員設定をしています。ところが、実際運営をしていく中で、遊戯室だけで100人設定をしています。実際始まっていくとこれ以上できないということで100人分を外した状況で園運営ができていた状態が300人の人数で運営をしています。そういった状況から、味間を建てた以降は味間こども園周辺の田んぼが全て埋まっている状態で、宅地開発も進んで、当初の予定よりも1.5倍以上ぐらいで宅地開発が進んでいます。その結果、味間地区に待機児童が出ている状況です。市長が先ほど申し上げましたが、本来なら味間地区で待機児童が出ているので建物を建てれば一番いいのですが、全部土地も埋まってしまっていますし、これ以上場所がないということで味間ではなくて西紀に増築をさせていただいて待機児童の解消に議会にご理解をいただいている状況です。

(委員 K)

待機児童を分散させる意味においても、近隣の保育園等で受け入れができることが望ましいと思います。定員によって園庭や園舎の設置基準があると思いますが、1園に集中している現状を考え、できるだけ分散して子どもが近くの園に通えることを目指していくことが重要だと思います。子どもの活気が地域の活性化につながる気がします。

令和7年度に向けての計画ですので、その年度の予想人口数も総合的に見ていかないといけないと思います。

それと、先ほど保育士等の確保の問題が出ておりましたが、学生は地元での就職を希望しますが、採用試験が遅く不安になり、阪神間を受験します。阪神間の募集は正職員で時期も早く、かなり積極的にアピールしてきます。学生も不安なため早く決めたいという思いから受験する傾向にあります。公立は入園数や財政等の問題もあり、採用試験が少し遅くなるのが保育士確保の難しさになっているのではないかと思います。

(事務局)

職員の件はその通りです。大学の方に行って、丹波篠山市の試験日の発表が遅いと、本当は受けようと思っていたのですがともというような話を聞かせていただいたので、直接近隣の大学の方に行かせていただいて、キャリアサポートセンターの職員の方とお話をさせてい

いただきました。そういった状況も人事担当に伝えさせていただいて、県内保育士の取り合いになっているので、丹波篠山市は少しだけですけども去年よりも早くさせていただいております。流れとして4月採用ということではなくて、Uターンの方とかそういった方があれば年度途中の採用もありますので、幼保職に関しては12月以降の採用ということで一般職と分けています。正職員については何とか確保できている状況ですけども、阪神間辺りも各市が補助金を保育士さんためにつけてたチラシが各大学に届いております。そういうのも一つかなと思いますが、ある大学に行かせていただいたら、お金はいつか切れますよ、だから地元の方が丹波篠山市の保育士になって、子どもたちを育てていくのが一番いいのではないですかということ saying いただいたので、丹波篠山市はそういったところまでは行っていませんでしたので、本年度初めて大学の方に園見学ツアーや保育就職フェアをさせていただいて、丹波篠山市の保育教育の良さを先生になろうという方に伝えていって何とか頑張りたいと思いますが、それでも不足すれば次の確保策にいかねばいけな思っております。

(委員 L)

自治会の会長ということで、保育園、幼稚園の老朽化が進んでいるということで、声をあげさせていただいております。より良いものになるように協力させていただきます。

(委員 E)

小学校の校長もしているのですが、こども園になろうが幼稚園のままであろうが、年長の次は小学校1年生ですので、滑らかな接続は意識していかないといけないと思っております。幼稚園ならPTAも一緒に行事等も一緒にやることもありますが、こども園になればその辺は意識してやっていかねばいけな思っております。

(委員 F)

0歳から5歳までの発達段階を踏まえた健やかな成長と連携を上手く繋げながら一つになればいいと思えますし、地域の方や保護者の方の意見も聞いていただいて、良い方向に進んでいけばいいと思っております。

(委員 D)

丹波篠山出身ですが、10年ほど丹波市に住んでました。その時のことを思うと息子が成人しているがその頃にこども園が出来て、新しい園舎で始めてこども園を経験したので、子どももきれいなところで設備も整っているのびのびしていて、行く保護者も気持ちよく過ごせて、丹波篠山に帰ってきて、こども園がなくて遅れているなと感じてしまいました。幼稚園教諭の不足等聞かせていただいていると、私も前の職業は学校で勤務していた経験があるのですが、学校現場で先生がストレスでしんどいのは身に染みて分かっているのですが、幼稚園の先生が不足しているのは待機児童の関係もあるのでしょうか、実際先生がしんどくって、新卒で採用されて、正職員で働いても、実際働いてみたら職員間の問題等もあって、せっかく幼稚園教諭を夢見てなっているのに辞めている人が実際多くいて不足しているのではないかなと思います。自分の経験上、大きな学校、人数が多い学校で働く職員負担も

大きく、丹波篠山市の35人学級はすごくいいなと思います。一番しんどかったときは、40人クラスを7クラス、3学年を1人で見てたんです。家庭科でしたら1人しか配置されないの、何百人と1人で見てて、恐ろしい勤務実態で、そうなる先生方も自分の仕事でいっぱいになって、40人クラスを1人で見るとは本当にしんどくて、そうなる子どもたちも窮屈になってしまうので、こども園も大きすぎるものを最初に造るのはよくないなと思います。小さい学校、1学年1クラスとか2クラスの学校で働いたときは気持ち的にも余裕があって、子どもと接するのもやさしくなって、職員室の雰囲気もすごく和やかで一体感が生まれていたのを経験しているの、大きいのがダメではないのですが、地域性もあるのですが、丹波篠山はそれがいいところなのでいいところを活かして、必要以上に受け入れの定員を掲げたらすごいというイメージはあるのですが、必要以上に掲げる必要はないと思います。味間の定員を460人が定員ですが実際の人数が減ってしまっているなら、定員を460人ではなく変えてしまえばいいのではないかと思います。それだけを聞いた人は何でと思うのも解消されるのではないかなと思うのです。大きすぎずここに見合った定員を考えて取り組んでいったらいいのではないかと思います。

(事務局)

丹波市さんはこども園の法律ができた時に、市の方針として旧町全部にこども園を造っていくということで、当時は教育委員会にあったそうですが、市長部局の方で全部されたと聞いております。そういったことで旧町毎に順番にやりましたとお話しを聞かせていただきました。丹波市は市立ではなくてそれぞれ法人化をして、地域で順番に造られて、丹波市のこども園化は全部完成したということです。

(委員長)

丹波市は私立のこども園化を進めてこられて、丹波篠山市は公立の幼稚園を大事にしてこられて、丹波篠山市も私立の保育園あるんです。ささやまこども園と富山こども園と私立のこども園があるんです。4,5年前に幼稚園をやめてこども園の方に行ってもらおうと思って、地域や保護者の会をつくってやったのですが、駄目だったんです。賛成が得られなかったんです。幼稚園教育が必要だと強い要望があったんです。ささやまこども園も富山こども園ももともと保育園がこども園になったので、イメージとして保育園のイメージが強くて、保護者の皆さんは幼稚園教育を受けさせたいという意見が強く、私立への一本化ができなくて、幼稚園を置いているんです。将来は私立のこども園に統合していくけれども、今すぐはこども園の教育が評価されていないのでそのようにしましょうと話をしたのが4,5年前です。丹波篠山市は幼稚園教育を大事にされてきたと思うのですが、保育園でも教育しますし、一体化することに越したことはないということで、公立のこども園をすることは賛成でした。

(委員L)

5ページの現在の城東保育園の園児数ですが、36名になっていますが、実際城東在住の園児は何人ですか。

(委員 F)

本年度3月までで43名になります。0歳児は6名の定員で6名全員城東地区の子どもです。1歳は12名で4名が城東地区です。2歳児は11名で6名が城東地区です。3歳児に関しては14名いて7名が城東地区で、計23名、43名中23名なので半分ぐらいです。あとの20名はほかの地域で岡野や味間、西紀や大山であったり、色々な地域から来られています。

(委員 L)

自分の村を見ても小学生が1人で隣の集落みても小学生がいなく、子どもがいない現状にあるのですが、こども園があつたらいいなと思うのですが、議会で言ったら費用対効果とか言われ、子どもがいないのに何億もお金をかけてと言われそうなんです、未来への投資だと思って城東らしいこども園を造って、住み続けていけるようにしないといけないと思います。お金をかけて人がいない中で投資していくので何か城東らしさとか一工夫いるのではないかと思います。昨日、男女共同参画の講演会があつて、講師先生が最後に今言われている異次元の少子化対策は少し違うと思います、それは子育て支援ばかり言っても子どもは増えませんよと、何が大事かという多様な生き方、結婚しない人もいるし、子どもをつくらない人もいる、一番問題は子どもを持っている人は4人も5人も持っているが、結婚しない人や子どもがいない人が増えてることが問題で多様な生き方を認めていくような柔軟な地域になっていかないと子どもは増えないと思いますと言われたのですが、これがこども園とはつながらないのですが、こども園の意義は地域の子育てを考えるのがもう一つの意義なので、地域の子育てであつたり、地域福祉の拠点がこども園であるから、特に少子高齢化の激しい城東なので何か工夫があつたらいいのかと思ったのと、先ほど言われた保育士の配置基準が変わるらしいが、色々な時代の転換期の中で城東のこども園を造るのは何か意義があるのではないかなと思います。

(委員長)

城東にこども園を整備しようというのは地域の方の強い意向でした。子育ての拠点を作って、子育てをする環境整備することによって地域が活性化していったらと思っておりますのでよろしく願いいたします。今後の日程はどうされますか。

(事務局)

こども園化で皆さんのご意見が得られたと思いますが、保護者の皆さんの意向が一番大事かなと思いますので、アンケートを取ったうえで次の会を9月の終わりか10月の初めにこの場で確認が出来れば次の段階、場所はどこにするのかという話になってくるかと思います。場所については、皆さんから出していただいて、実際に場所を見に行ったりして合意を得た経緯があります。それが出来ればどういった園舎の配置にしていくのかというような流れになっていきます。年内中ぐらいには出来ればと思っております。

(委員長)

今回はアンケートをした結果で9月ですかね。

(事務局)

9月に入りましたらアンケートを実施させていただいて、その集約も見込みまして、9月27日(水)で考えてますがいかがでしょうか。

(委員長)

それでは次回は9月27日(水)午後7時からよろしくお願いいたします。